

【NRCLレポート】

SDGs・社会的課題に関する生活者意識調査 ESG投資関心層と従来型投資関心層比較

2020年8月調査結果 追加分析

2021年2月

 **NR** 日本リサーチセンター
Member of WIN and Gallup International Association



調査の背景・目的

私ども日本リサーチセンターでは、企業・団体様でのSDGs推進支援を目的として、各種の自主調査を実施してきました。今回は、「**ESG投資**」に関する**生活者の意識**についての調査結果（2020年11月公表）の追加分析となります。

本レポートでは、**一般生活者のうち、ESG投資関心層と投資金融商品関心層の違い**にフォーカスして、とりまめました。

当社では、これからも、さまざまな角度からSDGsに関する調査・サービスを展開してまいります。

【持続可能な開発目標（SDGs）とは】

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で、「誰一人取り残さない」との理念の下に設定された、2030年までに達成すべき国際社会の目標です。

（右表の17項目。その下に169のターゲット、232の指標が決められています。）



国連広報センターより引用

<これまでの調査結果>

- 2019年7月実施 「SDGsに関する一般生活者の認知・意識調査」
(<https://www.nrc.co.jp/report/191003.html>)
- 2020年1月実施 「SDGsに関する一般生活者の購買・生活行動調査」
(<https://www.nrc.co.jp/report/200403.html>)
- 2020年5月実施 社会的課題に関する生活者意識調査結果
（前編）「生活者発想からのSDGsシーズ」(<https://www.nrc.co.jp/report/200626.html>)
（後編）「社会的課題意識を育て、ビジネスの原動力に ～積極層強化とともに、低関心層を取り残さないために～」
(<https://www.nrc.co.jp/report/200709.html>)
- 2020年8月実施 SDGs・社会的課題に関する生活者意識調査
「ESG投資を支える女性の『社会的期待』」(<https://www.nrc.co.jp/report/201110.html>)

調査概要

調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）※
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付を行った

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

調査期間

- 2020年8月調査（2020年8月4日～8月18日）

調査項目

- 1) SDGsに関する認知
- 2) 投資に100万円使うとしたら、どのような企業に投資したいか・その理由
- 3) ESG投資の認知、関心、投資意向
- 4) 金融資産の保有状況、保有意向 など

※NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代の中、NOSでは、50年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、**代表性のある信頼性の高いデータを提供しております。**

NOSは、定期的に実施する乗り合い形式（オムニバス）の調査です。

ランダムに決められた200地点にて、毎回、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では回収が難しい60代以上の対象者、インターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法といえます。

↓ **ぜひNOSご案内ページをご覧ください**

<https://www.nrc.co.jp/solution/nos/index.html>

【ESG投資とは？】

「ESG投資」とは、企業の財務情報（売上高・利益など）だけでなく、**環境（Environment）**・**社会（Social）**・**ガバナンス（Governance）**のような**「非財務情報」**も重視して行う投資です。

ESGに配慮しない企業（例：環境問題を引き起こす、ジェンダーや人種による差別をする、法令を守らない…）は、どんなに経済的に成果をあげても、市場からの評価は高まらずやがて消滅に向かうと考えられます。

一方で、ESGに向き合い、配慮する企業は、長期的な観点からより選ばれるようになり、持続性があり、成長も見込まれるため、経済的な利益ももたらすと考えられています。

これは世界的な潮流ともなっており、日本でも、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）※ が、ESG投資を2017年に開始したことにより、その動きが加速しています。

国内においても、様々な企業でESG視点を経営方針に取り入れて推進する動きが目立ってきており、金融機関でもESG関連の投資商品が展開されるなど、2030年が達成目標年限であるSDGsとともに、より広がりを見せていくものと期待されます。

※2019年6月末現在で160兆円超の資産を有し、世界最大の機関投資家といわれている

【調査結果サマリー:ESG投資関心層と投資性金融商品関心層の特徴比較】

投資性金融商品関心層では社会課題への投資意向においても値上がり期待が高く、一般的な投資家に近いイメージといえる。

一方、ESG投資関心層では、様々な社会課題への投資意向がみられ、「社会の役に立つ企業を応援したい」といった投資意向理由の比率が高く、ESGに配慮する企業への投資意向も6割を超える。

ESG投資関心層は、男女差や年代差が小さいなど、従来の投資家の特徴と異なり、新しい投資家像ともいえるが、世帯年収が高く、関東や大都市比率が高めという点から、広がりはこれからともいえる。

また、保有金融商品の上位をみるとやや保守的ながら、株式・投資信託については保有率も2～3割、今後1年以内の購入意向も1割強にあり、調査対象者全体と比べてもその割合は高く、ESG投資の先導役としても期待される。

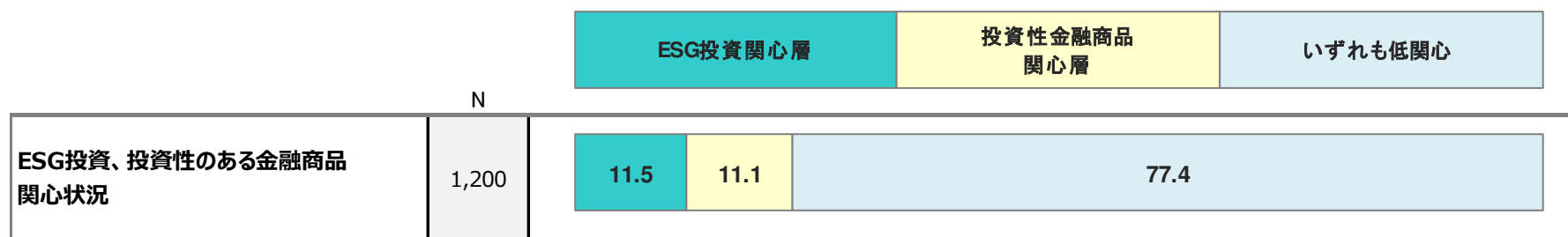
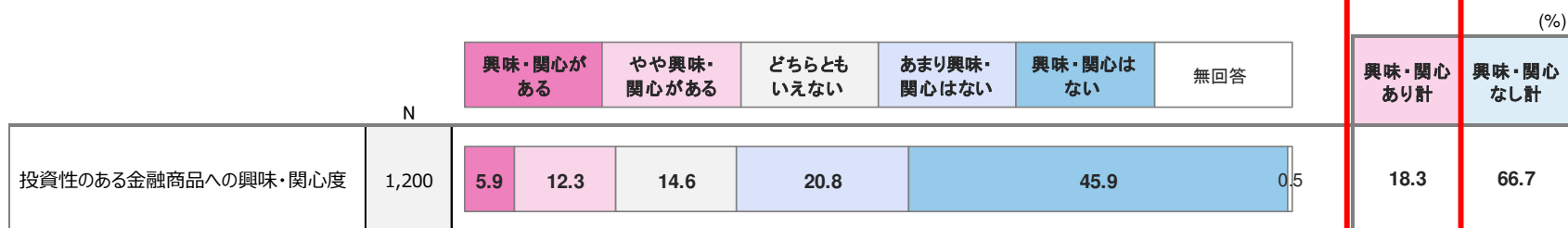
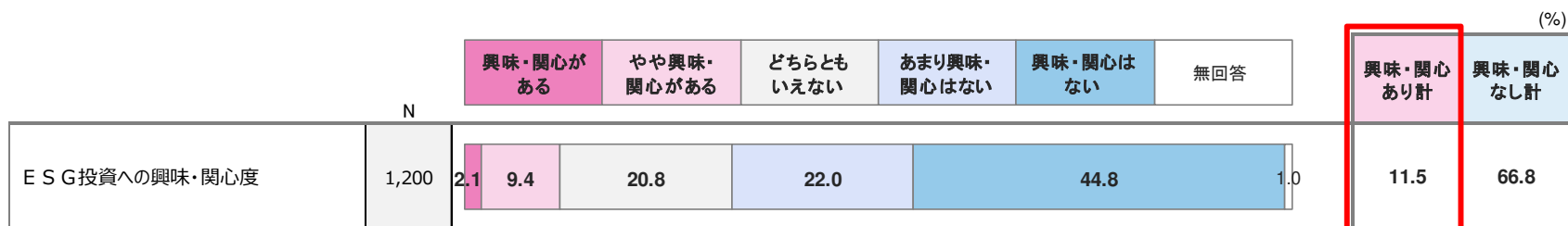
	ESG投資関心層 (N=138)	投資性金融商品関心層 (N=133)
個人・世帯属性	男女同率、年代差は小さい 世帯年収1,200万円以上の比率が高め	男性が65%、女性35%。30代がやや多い 世帯年収800～1,000万円の比率が高め
居住地域	関東、21大都市（政令指定都市）比率が高め	近畿、人口15万以上の都市の比率が高め
保有金融商品 (普通預貯金除く、 40%以上のもの)	①ゆうちょ銀行の通常貯金・通常貯蓄預金 70% ②生命保険・簡易保険 57% ③定期性の預金 41% 株式は3割弱、投資信託は2割強	①生命保険・簡易保険 60% ②ゆうちょ銀行の通常貯金・通常貯蓄預金 49% 株式、投資信託はともに2割強
今後1年以内の 購入意向商品	株式は1割半ば、投資信託は1割強	株式、投資信託ともに1割半ば
社会課題への 投資意向	総じて高く、「保健・医療環境・技術向上」「先端技術の 開発・商品化」に取り組む企業への投資意向が高い 「森林・海洋資源の保全」「世界的な平和につながる 取り組み」への投資意向も高め	「先端技術の開発・商品化」に取り組む企業への投資 意向が特に高い
投資意向理由 (投資先選択者で 30%以上のもの)	①社会の役に立つ企業を応援したい 63% ②国際的な規模での発展が期待できる 30%	①今後成長し、株価の値上がりが期待できる 38% ②社会の役に立つ企業を応援したい 37%
ESGに配慮する 企業への投資意向	意向あり 61% どちらともいえない 30%	意向あり 5% どちらともいえない 54%

ESG投資等への興味・関心

*2020年11月公表結果より一部再掲

- ◆ 「ESG投資」の概要を説明したうえで興味・関心があるかをたずねたところ、興味・関心度（興味・関心あり計）は11.5%。一方で、「投資性のある金融商品」へ興味・関心度は18.3%となっており、「ESG投資」の興味・関心度はこれを7ポイントほど下回る。
- ◆ 両者の回答状況から、『ESG投資関心層』『投資性金融商品関心層（ESG投資関心層を除く）』『いずれも低関心』に3区分し、次ページ以降で傾向を確認する。

【提示説明文】「ESG投資」とは以下のようなものです。
従来のような企業の財務情報（売上高や利益など）だけでなく、環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance：企業統治）の点も考慮・評価する投資。
ESGに配慮している企業は、持続的な経営・成長が見込めるとも考えられています。



ESG投資関心層：ESG投資に「興味・関心がある」「やや興味・関心がある」と回答した人
 投資性金融商品関心層：投資性のある金融商品にのみ「興味・関心がある」「やや興味・関心がある」と回答した人（ESG投資関心層を除く）
 いずれも低関心：ESG投資、投資性のある金融商品、いずれも「興味・関心がある」「やや興味・関心がある」に回答しなかった人

各層のプロフィール① 性・年代、世帯年収

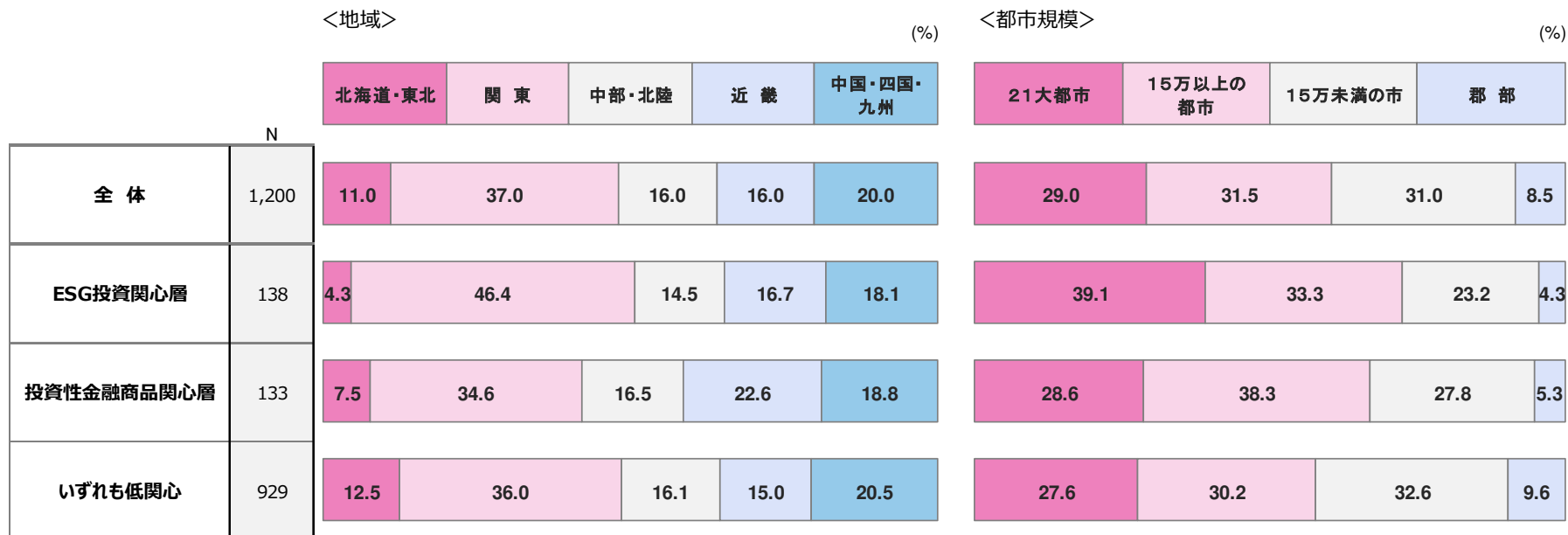
- ◆ ESG投資関心層は、男女半数ずつで年代の差も全体と比べて変わらないが、投資性金融商品関心層は男性が6割半ばを占め、年代は30代が全体より5ポイント以上高い。
- ◆ 世帯年収別では、ESG投資関心層は1200万円以上、投資性金融商品関心層は800～1000万円で、全体に比べて5ポイント以上高い。

	N	<性別>		<年代>						
		男性 (%)	女性 (%)	15～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才
全体	1,200	49.3	50.7	6.2	12.3	15.6	18.4	15.5	18.5	13.5
ESG投資関心層	138	50.0	50.0	4.3	14.5	17.4	19.6	17.4	15.2	11.6
投資性金融商品関心層	133	64.7	35.3	3.0	12.8	21.1	21.8	13.5	15.0	12.8
いずれも低関心	929	47.0	53.0	6.9	11.9	14.5	17.8	15.5	19.5	13.9

	N	<世帯年収>									
		～300万円未満	～400万円未満	～500万円未満	～600万円未満	～700万円未満	～800万円未満	～1000万円未満	～1200万円未満	1200万円以上	無回答
全体	1,200	15.9	11.3	11.4	9.8	10.4	7.7	9.4	5.3	5.2	13.6
ESG投資関心層	138	9.4	10.9	11.6	10.1	13.0	5.8	8.0	7.2	14.5	9.4
投資性金融商品関心層	133	12.8	9.0	13.5	12.0	6.8	11.3	16.5	4.5	7.5	6.0
いずれも低関心	929	17.3	11.7	11.1	9.5	10.5	7.4	8.6	5.1	3.4	15.3

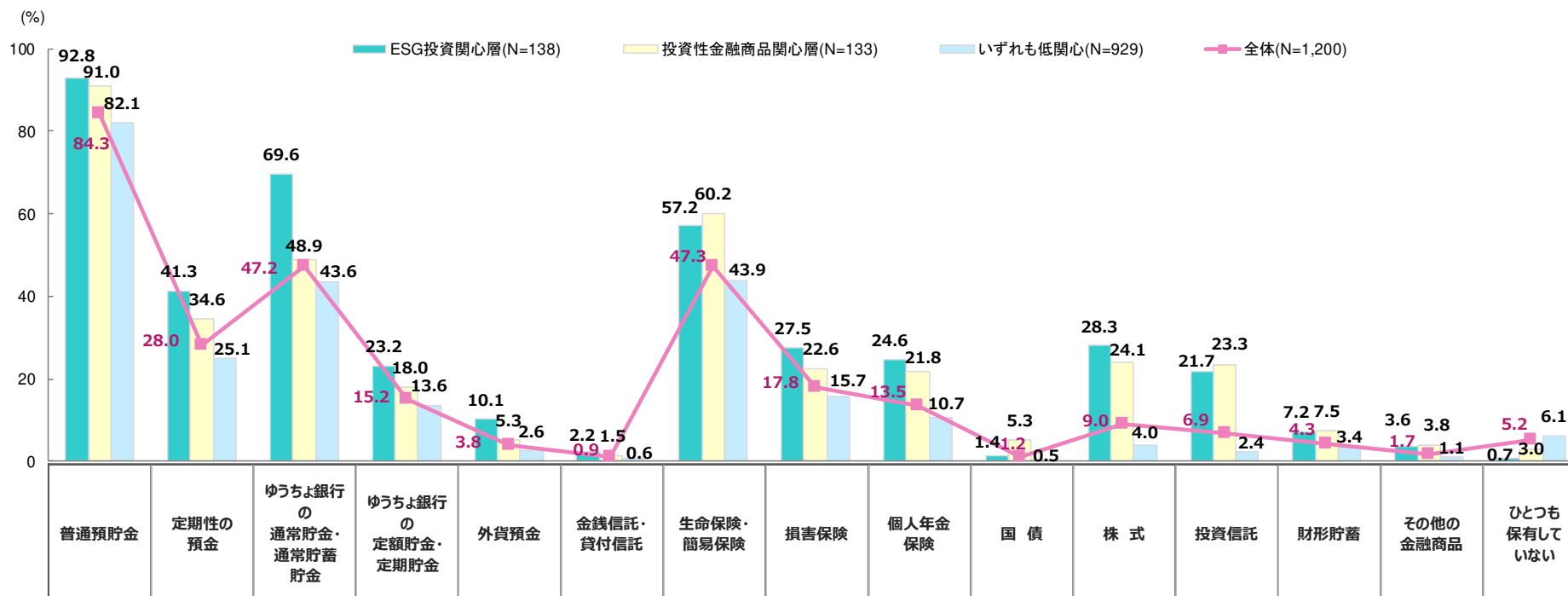
各層のプロフィール② 地域・都市規模

- ◆ 地域で見ると、ESG投資関心層は関東、投資性金融商品関心層は近畿で全体に比べて5ポイント以上高い。また、都市規模では、ESG関心層は21大都市（政令指定都市）で10ポイント以上、投資性金融商品関心層は人口15万以上の都市で5ポイント以上全体に比べて高い。



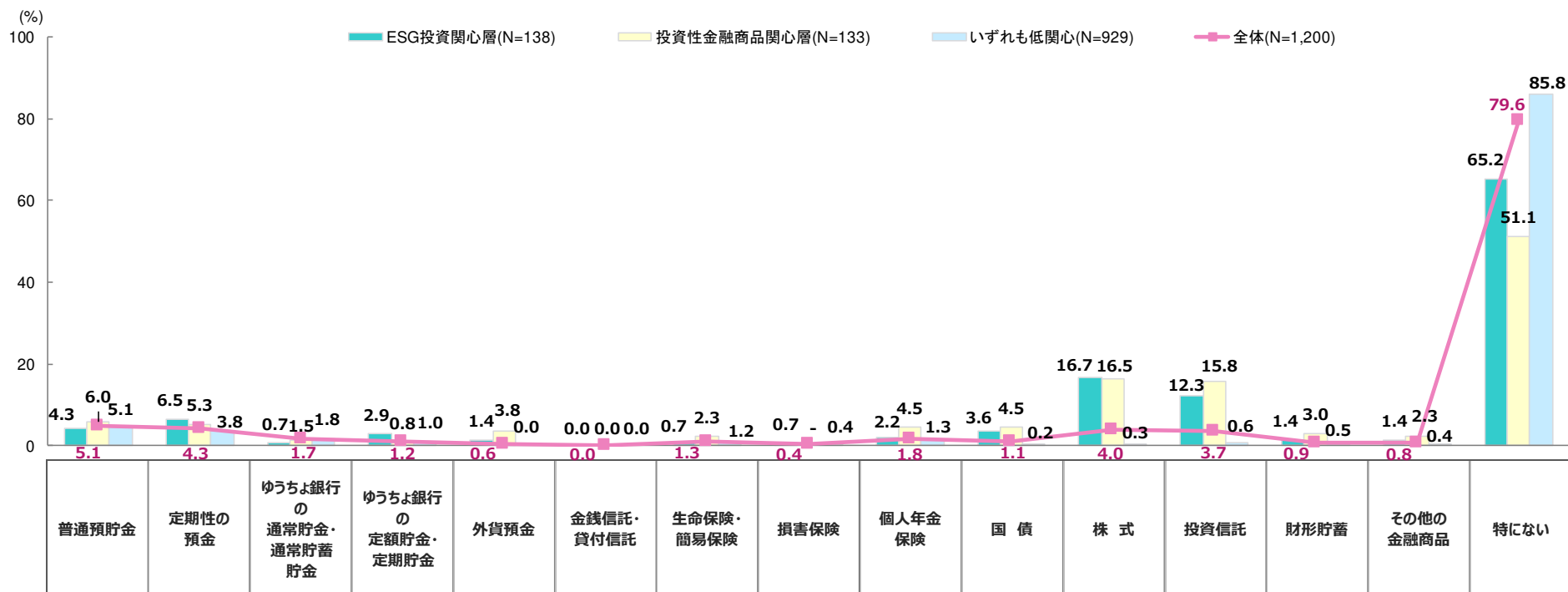
各層のプロフィール③ 現在保有金融商品

- ◆ ESG投資関心層、投資性金融商品関心層ともに「株式」「投資信託」の保有率が全体に比べて10ポイント以上高い。また、ESG投資関心層は、「ゆうちょ銀行の通常貯金・通常貯蓄貯金」「定期性の預金」「定期性の預金」「個人年金保険」、投資性金融商品関心層では「生命保険・簡易保険」も全体に比べて10ポイント以上高い。



各層のプロフィール④ 今後1年以内に購入意向のある金融商品

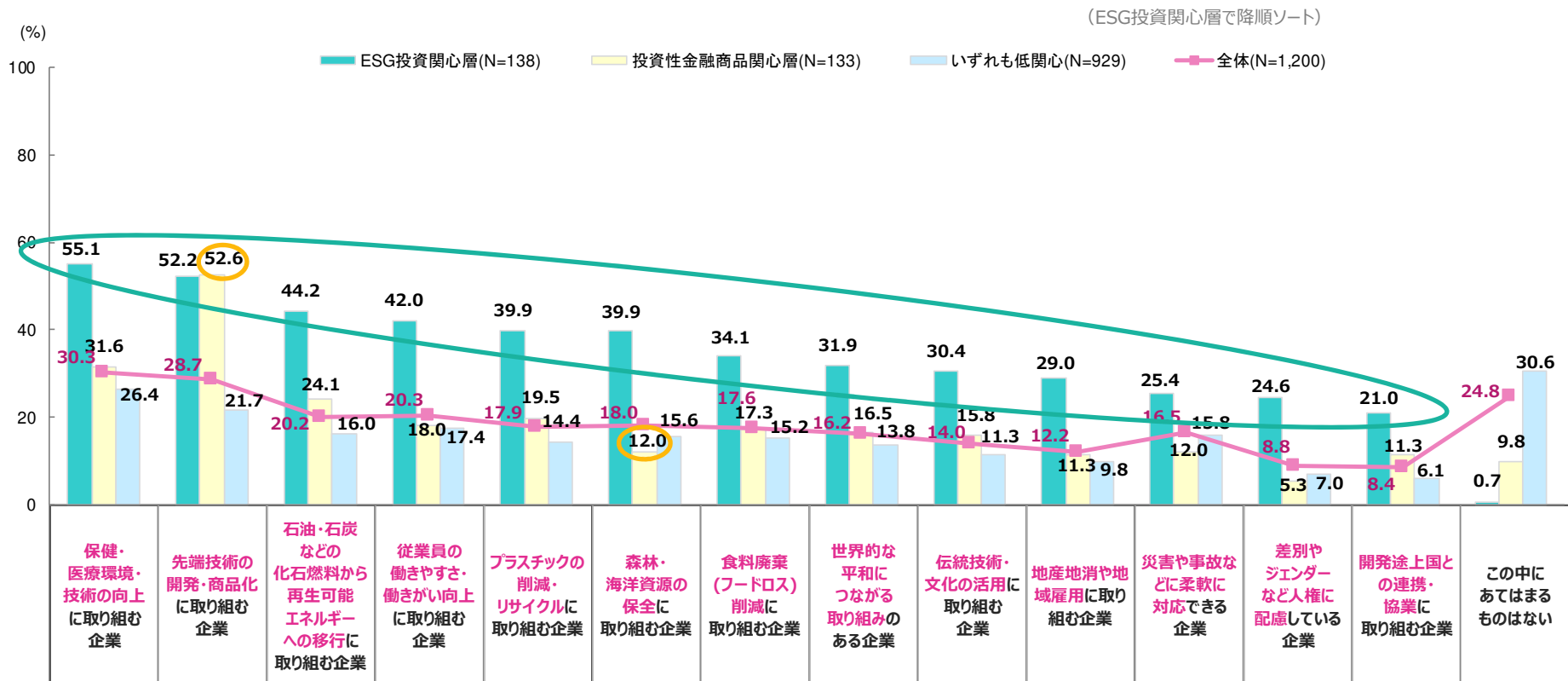
- ◆ 今後1年くらいの間には新規・追加購入意向のある商品については、ESG投資関心層、投資性金融商品関心層ともに「株式」「投資信託」が10%を超え、全体に比べて高い。



社会性ある取り組みへの投資意向①

- ◆ 仮に100万円を投資に使うとした場合、どのような取り組みのある企業に投資したいかについて尋ねた。
ESG投資関心層では、「保健・医療環境・技術の向上に取り組む企業」をはじめ、多くの項目で全体を大幅に上回り、社会的課題への投資関心が高い様子が見える。
投資性金融商品関心層では、「先端技術の開発・商品化に取り組む企業」が特に高く、ESG投資関心層とほぼ並ぶが、他の項目は総じて全体と同水準で、「森林・海洋資源の保全に取り組む企業」については全体に比べて5ポイント以上低いなど、投資意識の違いがみられる。

「投資」に100万円を使えるとしたら、どのような企業に投資したいか？（MA）

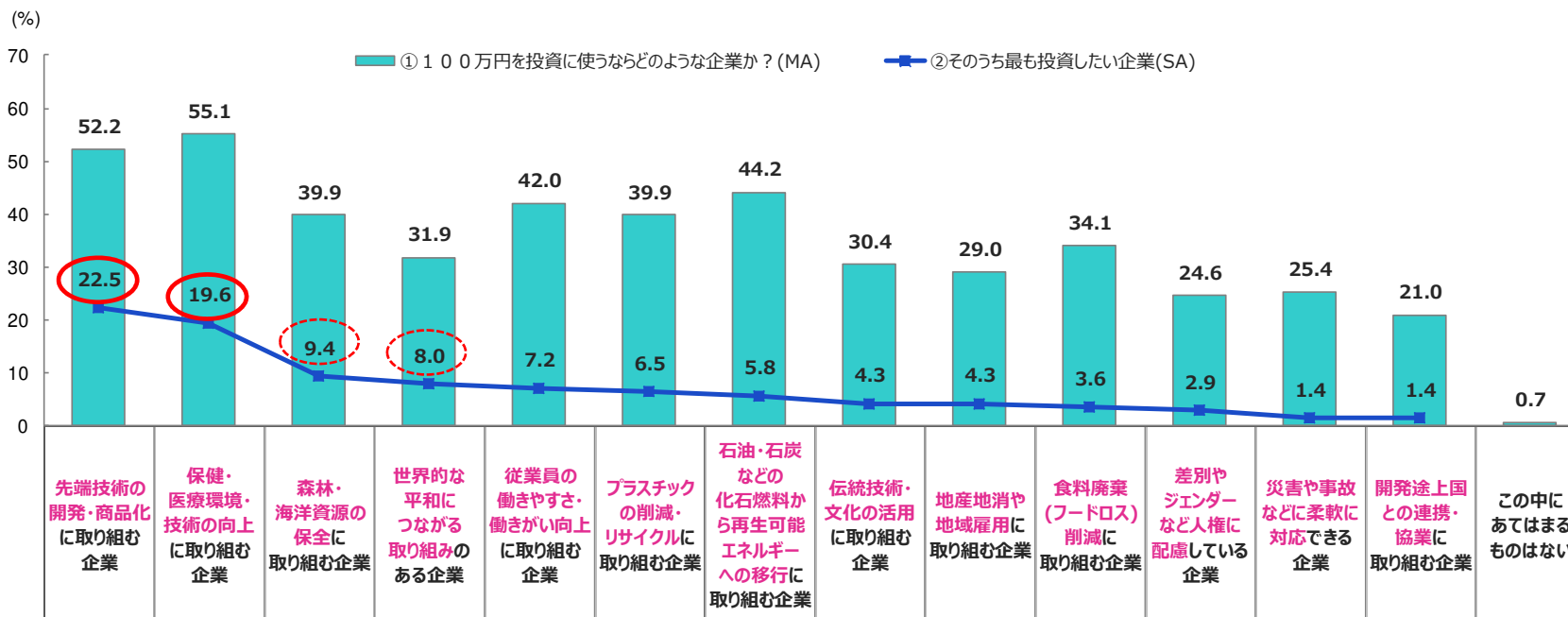


社会性ある取り組みへの投資意向②

- ◆ ESG投資関心層に絞って、前ページの投資意向先企業と、そのうち最も投資したい企業の状況をみた。最も投資したい企業は、100万円があった場合の投資先と同じく、「先端技術の開発・商品化」「保健・医療環境・技術の向上に取り組む企業」が2割前後と高い。また「森林・海洋資源の保全に取り組む企業」「世界的な平和につながる取り組みのある企業」が1割弱で、前ページでは中位だったが上位に上がってくる。

ESG投資関心層が「投資」に100万円を使えらしたら、どのような企業に投資したいか？（MA）／そのうち最も投資したい企業（SA）

ESG投資関心層ベース（N=138）



(参考：調査対象者全体)

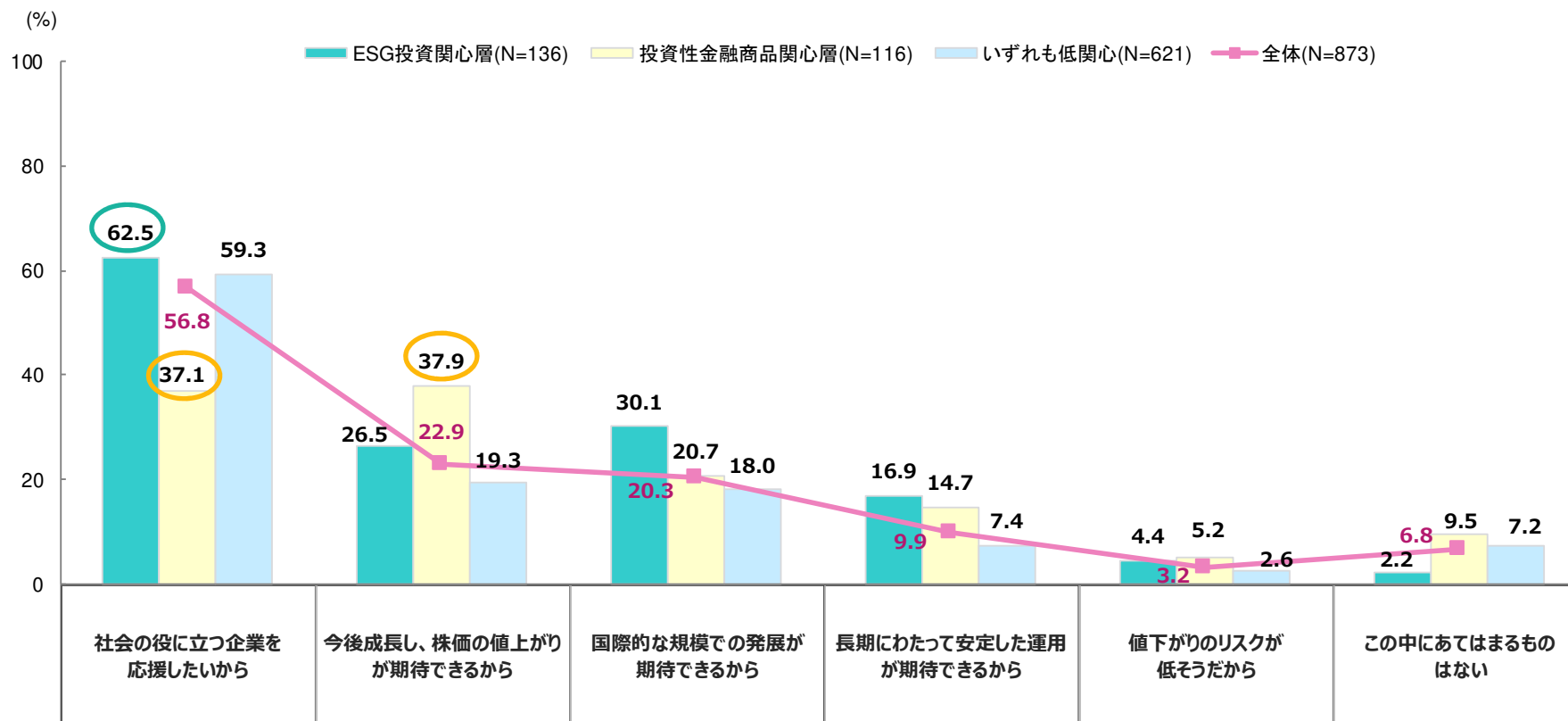
		ESG Category													この中であてはまるものはない
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
全体	①	28.7	30.3	18.0	16.2	20.3	17.9	20.2	14.0	12.2	17.6	8.8	16.5	8.4	24.8
N=1200	②	16.2	14.3	4.3	4.9	5.7	4.1	5.5	3.0	2.8	3.8	1.2	4.9	1.5	-

社会性ある取り組みへの投資意向③

- ◆ その企業を選んだ理由（企業選択者ベース）は、ESG投資関心層では「社会の役に立つ企業を応援したいから」が6割を超えて特に高い。投資性金融商品関心層ではこれとほぼ同率で「今後成長し、株価の値上がりが期待できるから」も高く、2大理由となっている。

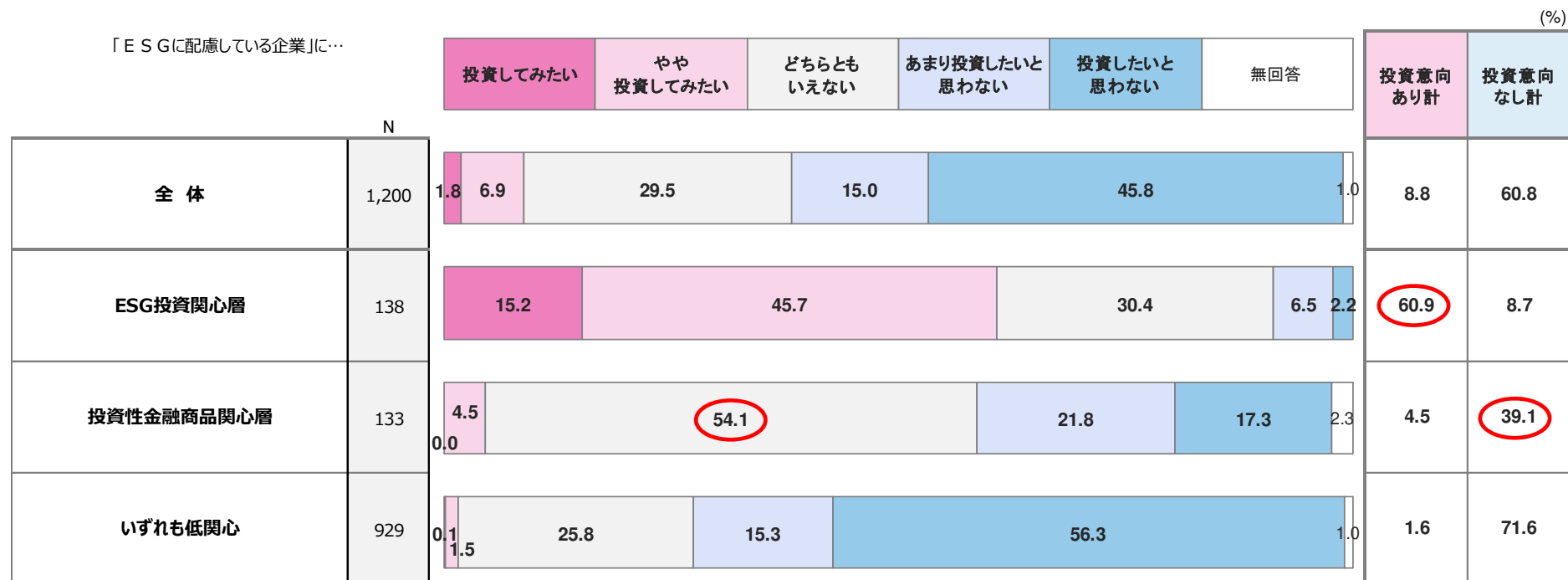
「『投資』に100万円を使えらしたら投資したい企業」の選択理由（MA）

投資先企業選択者ベース（N=873）



ESGに配慮する企業への投資意向

◆ ESGに配慮する企業への投資意向は、ESG投資関心層では6割にのぼる。投資性金融商品関心層では半数強が「どちらともいえない」、約4割がESGに配慮する企業への投資意向なしという状況にある。



調査票

テーマ:「社会的活動」についてお伺いします

【すべての方に】

問1 あなたは「SDGs(エス・ディ・ジーズ、Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 内容まで知っている 2 言葉は聞いたことがある 3 全く知らない

テーマ:「金融商品に対する意識」についてお伺いします

【すべての方に】

問1 次にあげる金融商品のうち、現在、あなたご自身がお持ちのものをすべてお知らせください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 普通預貯金 (ゆうちょ銀行の貯金は除く) | 8 損害保険 |
| 2 定期性の預金 (ゆうちょ銀行の貯金は除く) | (掛け捨て型や年金型商品は除く) |
| 3 ゆうちょ銀行の通常貯金・通常貯蓄貯金 | 9 個人年金保険 (公的年金は除く) |
| 4 ゆうちょ銀行の定額貯金・定期貯金 | 10 国債 (個人向け国債含む) |
| 5 外貨預金 (銀行・ゆうちょ銀行等) | 11 株式 (従業員持株制度による株式を含む) |
| 6 金銭信託・貸付信託 | 12 投資信託 (不動産投信含む) |
| 7 生命保険・簡易保険 | 13 財形貯蓄 |
| (掛け捨て型や年金型商品は除く) | 14 その他の金融商品 |
| 15 金融商品はひとつも保有していない | |

問2 今後1年以内位に、貯蓄を増やしたり、新規にはじめてみようと思う金融商品をお知らせください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 普通預貯金 (ゆうちょ銀行の貯金は除く) | 8 損害保険 |
| 2 定期性の預金 (ゆうちょ銀行の貯金は除く) | (掛け捨て型や年金型商品は除く) |
| 3 ゆうちょ銀行の通常貯金・通常貯蓄貯金 | 9 個人年金保険 (公的年金は除く) |
| 4 ゆうちょ銀行の定額貯金・定期貯金 | 10 国債 (個人向け国債含む) |
| 5 外貨預金 (銀行・ゆうちょ銀行等) | 11 株式 (従業員持株制度による株式を含む) |
| 6 金銭信託・貸付信託 | 12 投資信託 (不動産投信含む) |
| 7 生命保険・簡易保険 | 13 財形貯蓄 |
| (掛け捨て型や年金型商品は除く) | 14 その他の金融商品 |
| 15 特になし | |

問3 あなたは、国債・株式・投資信託などといった「投資性のある金融商品」について、どのくらい興味・関心がありますか。(〇は1つだけ)

- 1 興味・関心がある 3 どちらともいえない 4 あまり興味・関心はない
2 やや興味・関心がある 5 興味・関心はない

テーマ:「投資」と「社会性」についてお伺いします

【すべての方に】

問1 ① もし仮に「投資」に100万円使うとしたら、あなたはどのような企業(の株式やファンド)に投資したいですか。(〇はいくつでも)

※投資を行っていない方も、投資を行うと仮定してお答えください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1 食料廃棄(フードロス)削減に取り組む企業 | 9 森林・海洋資源の保全に取り組む企業 |
| 2 プラスチックの削減・リサイクルに取り組む企業 | 10 地産地消や地域雇用に取り組む企業 |
| 3 石油・石炭などの化石燃料から再生可能エネルギーへの移行に取り組む企業 | 11 差別やジェンダーなど人権に配慮している企業 |
| 4 先端技術の開発・商品化に取り組む企業 | 12 従業員の働きやすさ・働きがい向上に取り組む企業 |
| 5 伝統技術・文化の活用に取り組む企業 | 13 災害や事故などに柔軟に対応できる企業 |
| 6 保健・医療環境・技術の向上に取り組む企業 | 14 この中であてはまるものはない |
| 7 開発途上国との連携・協業に取り組む企業 | |
| 8 世界的な平和につながる取り組みのある企業 | |

② ①で選んだ企業のうち、最も投資したいのはどこですか。(上記①の番号を1つだけ記入)

→

③ 上記①・②で、その企業を選んだ理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 今後成長し、株価の値上がり期待できるから | 4 国際的な規模での発展が期待できるから |
| 2 長期にわたって安定した運用が期待できるから | 5 社会の役に立つ企業を応援したいから |
| 3 値下がりのリスクが低そうだから | 6 この中であてはまるものはない |

問2 あなたは、「ESG※投資」をご存じですか。(〇は1つだけ)

※ESG=環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance:企業統治)の略

- 1 内容まで知っている 2 言葉は聞いたことがある 3 全く知らない

問3 「ESG投資」とは以下のようなものです。

従来のような企業の財務情報(売上高や利益など)だけでなく、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance:企業統治)の点も考慮・評価する投資。ESGに配慮している企業は、持続的な経営・成長が見込めるとも考えられています。

① あなたは、「ESG投資」にどのくらい興味・関心がありますか。(〇は1つだけ)

- 1 興味・関心がある 3 どちらともいえない 4 あまり興味・関心はない
2 やや興味・関心がある 5 興味・関心はない

② あなたは、「ESGに配慮している企業」にどのくらい投資してみたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 投資してみたい 3 どちらともいえない 4 あまり投資したいと思わない
2 やや投資してみたい 5 投資したいと思わない

改ページ

改ページ

◆NRCLレポート

日本リサーチセンター(NRC)では、全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査 (NOS) を、定期的に実施しております。対象者の数は、エリア・都市規模と性年代が日本の人口構成に合致するよう設定していますので、全体結果は、日本全国15～79歳男女の実態や意識をバランスよく反映したものとご覧になれます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの外部への引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

- ※ 連絡先：日本リサーチセンター広報室 (information@nrc.co.jp)
- ※ 担当：マーケティング事業開発部 井嶋

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**